

【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

正しい税の使い方とは？

熊本市立東町中学校

一年 木脇 結菜

世界には、多くの人々が貧困や食料不足などに苦しみ、国際社会が見過すことのできない状況になっている国々があります。こうした国々の生活環境を改善するためには、世界での助け合いが必要だと思います。今もなお、世界では、ウクライナ情勢が問題になっていますよね。この現実を知ったのは、私が小学四年生の時で、あまり興味を持っていませんでした。ですが、最近ニュースなどで、日本がウクライナからの留学生などの受け入れをしたり、奨学金を援助しているということを知りました。そこで、今年の夏休み、この作文を書く機会に税金は、世界にどのように役だっているのか、調べて見ることにしました。

日本では、国民の納める税を様々な形で歳出しています。そのうちの〇・五パーセントが「経済協力費」というものです。経済協力費は、日本ではなく、世界のために使われている費用だということが分かりました。この事実を知って、私は国民として嬉しかったです。この経済協力費は、開発途上国の経済的、社会的開発や福祉の向上を目的として、技術協力や資金提供を行う、政府開発援助という活動で使われていることが分かりました。政府開発援助とは、発展途上国の経済発展や福祉向上のために先進工業国の政府及び政府機関が発展途上国に対して行う援助や出資のことだそうです。

でも、援助などをしていたら、日本の経済が回らなくなるのでは？と疑問に思う人もいると思うし、自分達が払っている税を他の国に援助するのは、おかしいと批判する人もいるかもしれません。だけれど、自分は貧困で苦しみ、働く子供の姿は見たくないし、考え方は、人それぞれですが、税金を他の国々の援助に少しでも使って欲しいなと思います。税金を使わずに援助する方法はないのか。それが疑問です。忘れてはいけない、東日本大震災。この災害では、沢山の国からの支援をもらい、今の日本があると思っています。今起きているウクライナ情勢ですが、少しでも早く辛い思いをする人がいなくなっほしいなと思います。私は、世界は協力し、支え合いながら成り立っていると思っていますので、自分達が出している税を使いたくないという気持ちもありますが、税で支援することもできるんだと嬉しく思いました。